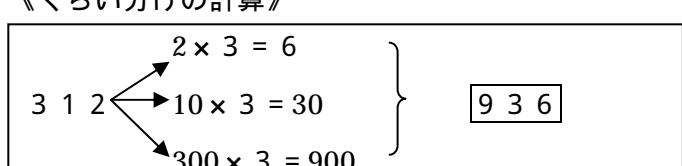


6. 本時の目標 3位数×1位数で、部分積に繰り上がりのない乗法でも、各位の数に分けてかけ、加えることによって計算できることを理解し、筆算で計算することができる。

7. 本時の評価規準

【表現・処理】：3位数×1位数で、部分積に繰り上がりのない乗法を、筆算で計算できる。

8. 本時の展開

過程	主な学習活動	学習集団	個のつまづきに対する指導援助																											
素材提示	1. 問題を提示し、場面把握をする。  (問題) 1回まわると312mのジョキングコースがあります。ここを3回走りました。全部で何m走ったでしょう。  ・分かっていること 1回まわると・・・312m 走った回数・・・3回 ・求める数 全部で何m走ったか ・答えの単位は m ・式は $312 \times 3$ (312の3個分)	全体	つまづきの様相  見通しをもつ段階  C1: 立式ができない (挙手、表情) → 「1周の長さ×走る回数=全部の長さ」になることを確認し、式の数の意味を考えさせる																											
課題化	2. 本時の課題をつかみ、解決の見通しをもつ。 昨日の学習との違いは? ・百の位までである ・繰り上がりがなさそう ・3けた×1けたの計算だ ・300と10と2の3つに分けて考えよう  (課題)3けた×1けたの計算のし方をひっ算でとけるようによう。	全体	C2: $72 \times 3$ と $312 \times 3$ とのちがいに気づかない (表情、つぶやき) → 「一、十、百」と位を数えることで本時は百の位まであることに気づかせる																											
課題追究	3. $312 \times 3$ の計算方法を考える 《お金で考える》 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr><td>百の位</td><td>十の位</td><td>一の位</td></tr> <tr><td>(300)</td><td>(10)</td><td>(2)</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td><math>300 \times 3 = 900</math></td><td><math>10 \times 3 = 30</math></td><td><math>2 \times 3 = 6</math></td></tr> <tr><td colspan="3"><math>900 + 30 + 6 = 936</math></td></tr> </table> 《くらい分けの計算》  《ひっ算A》 <table border="1" style="display:inline-table; vertical-align:top;"><tr><td>312</td></tr><tr><td>x 3</td></tr><tr><td>6</td></tr><tr><td>30</td></tr><tr><td>900</td></tr><tr><td>936</td></tr></table> 《ひっ算B》 <table border="1" style="display:inline-table; vertical-align:top;"><tr><td>312</td></tr><tr><td>x 3</td></tr><tr><td>936</td></tr></table> 「三二が6、一の位に6」 「三一が3、十の位に3」 「三三が9、百の位に9」	百の位	十の位	一の位	(300)	(10)	(2)							$300 \times 3 = 900$	$10 \times 3 = 30$	$2 \times 3 = 6$	$900 + 30 + 6 = 936$			312	x 3	6	30	900	936	312	x 3	936	個	C3: $312 \times 3$ の計算をどのような方法で考えればよいか分からない (挙手、表情) → $32 \times 3$ の計算の方法を考えた際に使ったお金模型や式などを掲示物で確認させる
百の位	十の位	一の位																												
(300)	(10)	(2)																												
$300 \times 3 = 900$	$10 \times 3 = 30$	$2 \times 3 = 6$																												
$900 + 30 + 6 = 936$																														
312																														
x 3																														
6																														
30																														
900																														
936																														
312																														
x 3																														
936																														
解決	4. 全体で確かめる ・どのやり方でも、答えは936mになる ・どのやり方も、一の位と十の位、百の位を分けて考え、あわせて答えを出している ・3桁×1桁も筆算でできる ・全員で筆算Bの仕方を言いながら、ノートに計算をする  まとめ：一のくらいからじゅんに、位ごとに分けて計算する	個	課題追究における段階  C4: 追究方法を決定することができず、取り組みに入れない。(ノート、つぶやき) → お金で考えるためのカード、または暗いわけの計算カードを利用させる																											
一般化	5. 確認問題を解く $231 \times 3$ <table border="1" style="display:inline-table; vertical-align:top;"><tr><td>231</td></tr><tr><td>x 3</td></tr><tr><td>693</td></tr></table>	231	x 3	693	個	C5: 312を $300 + 10 + 2$ とみて計算することに気づかない (ノート、つぶやき) → $32 \times 3$ の計算をしたとき、 $32$ を $30 + 2$ とみて計算したことを掲示物で想起させる																								
231																														
x 3																														
693																														
評価	6. 評価問題に取り組む $212 \times 4$ $244 \times 2$ $320 \times 3$	ペア	C6: ひっ算が正しくかけない (ノート) → 位の数を確認しながら数字を書いていく練習をする																											
	7. 発展問題に取り組む 【問題】 $4 \times 2$ と $30 \times 2$ と $200 \times 2$ の答えを合わせた数は、 $\square \times 2$ の答えと同じになります。	全体	B7: お金の表を使って考えるが、かけ算の式につながらない (ノート) → $100$ と $10$ 、 $1$ のかたまりに分けて別々に合計を求め計算式を考えさせる																											
	8. 自己評価をする 3けた×1けたの計算のし方がひっ算でできるようになりましたか。 お金やくらい分け、ひっ算などを使って、やり方を見つけることができましたか。 自分の考えを、友だちに話すことができましたか。	全体	*自分の考えをなかまに伝え、確かなものにするためのペア交流  B8: $312$ を $300 + 10 + 2$ とみて計算できる ( $2 \times 3 = 6$ $10 \times 3 = 30$ $300 \times 3 = 900$ ) (ノート) → 式の計算を参考にして、ひっ算での計算方法を考えさせる。																											
		全体	B9: 自分の考えをまとめているが、ペア交流ができない (活動の様子) → 言い出しの言葉を教え、話すきっかけをつくる。つまったときは、ペアの子に助けるように助言する																											
		個	評価問題における段階  C10: 評価問題ができない (ノート) → もう1度 $312 \times 3$ のひっ算での計算方法を確かめ、一の位から百の位へと位ごとに分けて計算することを確認する																											

